

発表・論文執筆状況

1. 前回会議以降の進捗内容

- ・ NDB Open Dataにて放射線治療提供体制の地域格差を示し、その要因と経時的変化を明らかにした（詳細は武田先生より）。

2. 発表・論文執筆状況

- ・ 武田一也.高精度放射線治療部会（大会長賞）・論文掲載済み(JRR)
「高精度放射線治療技術の利用における地域間格差とその背景因子.」
- ・ 武田一也.日本医学放射線学会北日本地方会（銀賞）
- ・ 神宮啓一. EXPO2025 Elekta Day「未来社会×サステイナブルな経営戦略」
- ・ 神宮啓一. 2025年度宮城県がん診療提供体制検討委員会

3. 今後の予定

- ・ RI治療の地域格差の是正に向けた提言を作成。

1

RI内用療法入院病室の状況：「医療の均てん化」には程遠い

治療病室空白県

茨城、滋賀、奈良、和歌山、佐賀

神奈川県： 神奈川がんセンターに1床新設
岐阜県： 岐阜大学に1床新設

2011年のデータ。
全67施設、144病床

北海道： 3施設、9床（変更なし）
東北： 9施設、19床
関東： 12施設、23床
甲信越： 4施設、7床
北陸： 5施設、12床
東海： 4施設、10床
関西： 6施設、14床
中国： 9施設、13床
四国： 6施設、8床
九州： 8施設、28床
沖縄： 1施設、1床（変更なし）



2019年11月25日のデータ。
全68施設（+1）、154病床（+10）

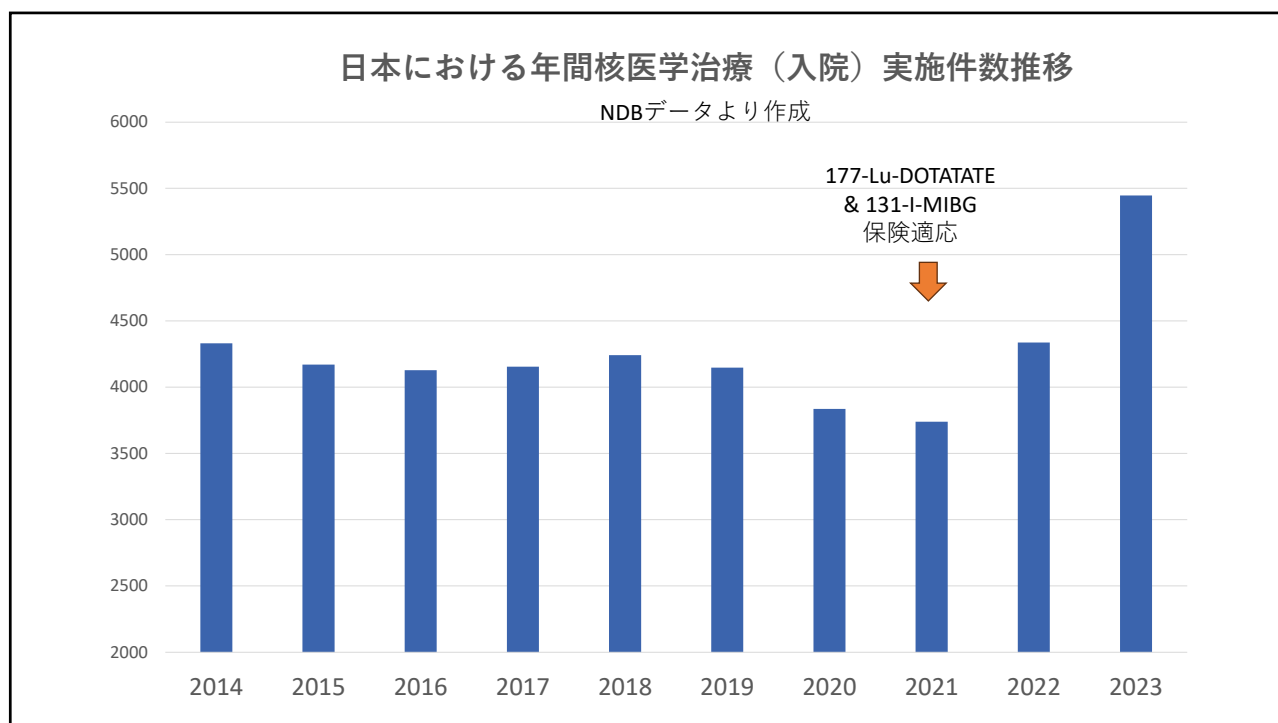
北海道： 3施設、9床（変更なし）
東北： 9施設、26床（+7）
関東： 12施設、27床（+4）
甲信越： 4施設、8床（+1）
北陸： 4施設（-1）、11床（-1）
東海： 5施設（+1）、8床（-2）
関西： 8施設（+2）、16床（+2）
中国： 8施設（-1）、14床（+1）
四国： 5施設（-1）、7床（-1）
九州： 9施設（+1）、27床（-1）
沖縄： 1施設、1床（変更なし）

日本：1.25 ベッド 100万人あたり（東北地方：3.05ベッド 100万人あたり）

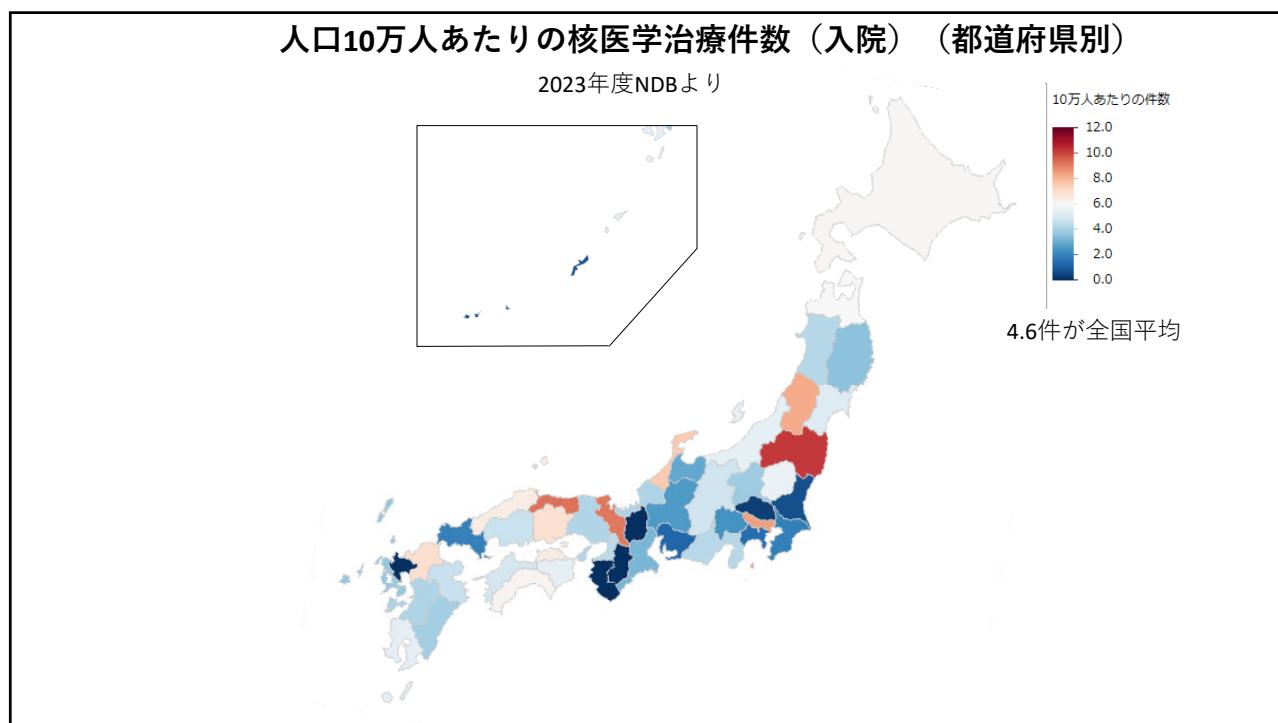
ドイツ：12.5 ベッド 100万人あたり

日本核医学会健保委員会まとめ

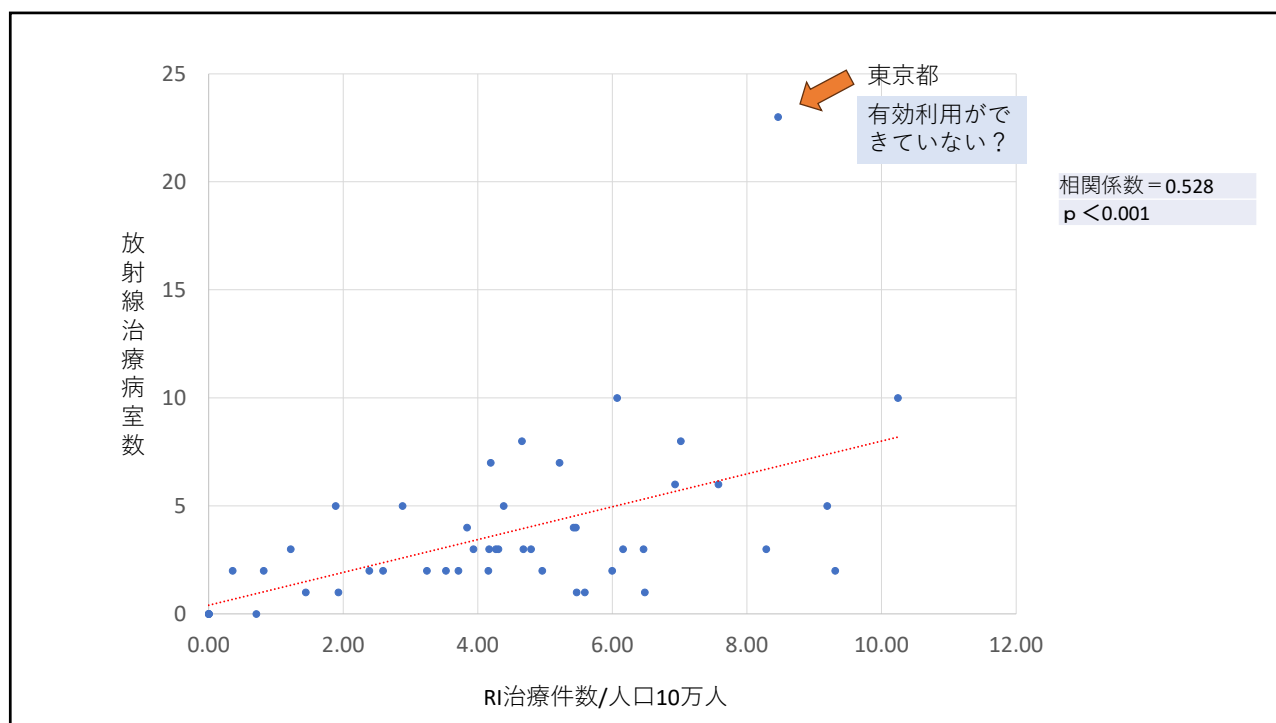
2



3



4



5

提言

- 昨今の病院経営の状況を鑑みると、急激な病室増は難しいことから、特別措置病室をうまく活用し、新規のLu177を使用した製剤には対応が必要である。
- 特別措置病室に対する医療法に基づく省令・通知等の改正や緩和措置を提言する。
- すでに充足している都道府県を中心に、県境を越えたネットワークの形成と共同利用体制をがん拠点病院の指定要項に盛り込むことを提言する。

6